農業や農村への関心が高まる中、
独自の視点で持続可能な暮らしを
追究する実践者が増えている。
ナリワイとしての農業を通じ、
都市と農村を行き交う人々が目指す
新しい生き方と地域の未来について考える。

都市・農村共生社会創造シンポジウム in 宮城

［農業がつなぐ人と地域の未来］

参加料
無料

定員
200名

2018 2.9 Fri

13:00～16:30（12:30開場）

江陽グランドホテル
5階　鳳凰の間
仙台市青葉区本町2丁目3-1

基調講演

農業・農村政策を再考する

講師
生源寺 眞一 氏
福島大学教授・東京大学名誉教授

パネルディスカッション

農業がつなぐ人と地域の未来

●コーディネーター
宮城大学教授
三石 誠司 氏

●コメンテーター
ローカル・ジャーナリスト
田中 輝美 氏

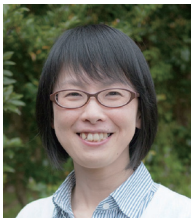
●パネラー
風土農園（岩手県遠野市）
伊勢崎 まゆみ 氏
アルフィオーレ農園（宮城県川崎町）
目黒 浩敬 氏
歓藍社（福島県大玉村）
林　剛平 氏

三石 誠司 氏

伊勢崎 まゆみ 氏

目黒 浩敬 氏

林　剛平 氏


田中 輝美 氏

主催：全国町村会／一般財団法人地域活性化センター
協力：一般社団法人農山漁村文化協会（農文協）

都市・農村共生社会創造シンポジウム in 宮城

［農業がつなぐ人と地域の未来］

Program

12:30　開場

13:00　開会　主催者挨拶

13:05　基調講演
農業・農村政策を再考する

14:15　休憩

14:30　パネルディスカッション
農業がつなぐ人と地域の未来

16:30　閉会

Profile

生源寺 眞一 氏（しょうげんじ・しんいち）

福島大学教授・東京大学名誉教授

1951年愛知県生まれ。東京大学農学部農業経済学科卒。農学博士。専門：農業経済学、フードシステム論、農業政策論。東京大学大学院農学生命科学研究科教授、同研究科長、農学部長、名古屋大学大学院生命農学研究科教授を経て本年4月より現職。
これまでに日本フードシステム学会会長、農村計画学会会長、日本農業経営学会会長、日本農業経済学会会長、日本学術会議会員、食料・農業・農村政策審議会会長などを務める。

三石 誠司 氏（みついし・せいじ）

宮城大学食産業学群（経営学系）教授、大学院食産業学研究科副研究科長、附属農場長

東京外国語大学卒、ハーバード大学院修了、筑波大学大学院博士課程単位取得退学後、全国農業協同組合連合会勤務を経て、2006年より宮城大学教授。
食料・農業・農村政策審議会委員、産業構造審議会臨時委員、関税・外国為替等審議会委員等を歴任。専門は、経営学（戦略論、組織論）、アグリビジネス経営、企業法、企業倫理など。グローバル化が進展している現在の食料・農業・農村と企業活動との関係などを中心に研究している。

伊勢崎 まゆみ 氏（いせざき・まゆみ）

風土農園（岩手県遠野市）

神奈川県横浜市生まれ。都内のアパレルメーカーで販売兼デザイナーとして活動中の20代のとき、友人に会いに訪れた岩手県遠野の景色に魅了され、11年前に東京から移住。
16代続く農家へ嫁ぎ、夫と共に『風土農園』として、農薬や化学肥料に頼らない自然栽培という農法で米や豆を育てながら、豊かな水を田畑に運んでくれる命の源である山を良くする活動も行っている。どちらが欠けても成り立つことができない“食と自然”。地域資源だけで自立して暮らせる「自然を生かした暮らし」を目指す。

目黒 浩敬 氏（めぐろ・ひろたか）

アルフィオーレ農園（宮城県川崎町）

1978年福島県生まれ。教師を目指して進学するが、アルバイトで料理に目覚める。2004年イタリアに渡り、帰国後、仙台市内に「アルフィオーレ」を開店。2014年から宮城県川崎町の耕作放棄地にぶどうを植樹。2015年、店を閉め、農場づくりに本格的に取り組み始める。現在、ワイナリーの設立に向け奮闘中。

林　剛平 氏（はやし・ごうへい）

歓藍社（福島県大玉村）

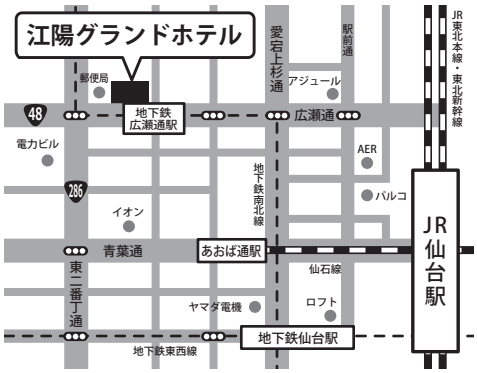
高山建築学校で学ぶ。京都大学農学部でマツタケ研究。震災後東北大学医学部博士後期課程に進学し、今中哲二氏、沢野伸浩氏、福本学氏、三大顕学に師事。「3.11後の農」を生み出す場として、衣食住を作る歓藍社を福島県大玉村で佐藤研吾氏、国枝歓氏と立ち上げる。歓藍社は、藍の育成リズムで都市と農村を往復し「3.11後の農」を試みている。それは過密疎地の協働という観点において、山間農村漁村地域への接続を可能にする。現在、日本学術振興会特別研究員。

田中 輝美 氏（たなか・てるみ）

ローカル・ジャーナリスト

島根県浜田市出身。大阪大学文学部卒。山陰中央新報社で記者をしながら、ふるさとで働く喜びに目覚める。2014年秋からフリーの「ローカル・ジャーナリスト」として、島根に暮らしながら、島根のニュースを発信している。一般社団法人・日本ジャーナリスト教育センター（JCEJ）の運営委員も務める。

Access



■JR仙台駅西口より
●徒歩／12分　●タクシー／5分
●地下鉄／1分（南北線「広瀬通駅」西-1出口）
■東北自動車道仙台宮城ICより約10分
※お車でお越しの方は、ホテル駐車場（有料）、近隣駐車場（有料）をご利用ください。

江陽グランドホテル
〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町二丁目3-1
TEL 022(267)5111(代表)　FAX 022(265)2252
URL http://www.koyogh.jp
E-mail info@koyogh.jp

【申込み方法】
●参加ご希望の方は、下記申込書に必要事項をご記入の上、郵送かFAXで送付いただくか、記載内容をメールかセミナー申込フォームにて送信してください。

●申込締切：2月2日（金）
（定員に達し次第締め切らせていただきます）
申込時にご記入いただいた個人情報については、当センターからの事務連絡のほか、各事業のご案内等に利用させていただく場合があります。

【申込み・問い合わせ先】
一般財団法人 地域活性化センター　企画・コンサルタント業務課
〒103-0027 東京都中央区日本橋2-3-4　日本橋プラザビル13階
TEL 03-5202-6133　FAX 03-5202-0755
E-mail kikaku@jcrd.jp

セミナー申込フォーム▶

参加申込書

フリガナ 氏　名	都道府県 市区町村	都 道 府 県	市 区 町 村
職業（会社名）・学校名			
TEL	FAX		
E-mail			